

丹波市立市島中学校 3年

私たちはコンクール金賞をめざして、去年の3年生が引退されてから、日々練習をしてきました。コンクールには、毎年のように出場できると思っていたので、去年はこのようなことになるとは思っていませんでした。ですが、3月から新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が出され、学校が休校になったとともに、部活の練習ができなくなりました。当たり前の生活が一変し、とても悲しく、「はやく部活がしたい」「皆と合奏がしたい」という思いがつのるばかりでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大は収まりませんでした。そして、私たちが予想していたとおりコンクールの中止。3年生は中学校生活最後のコンクールが中止になってしまい、悔しくて何もやる気になりませんでした。ですが、そんなとき、顧問の先生がこれからのことを前向きに考えてくださって、次の目標に向かって進むことができました。いつまでも立ち止まることはできません。新入生を迎え、これからある行事などにむけて精一杯練習し、地域の方々にお世話になっている分、誰かの心に残る演奏で感謝を伝えていきたいと思います。

宝塚市立南ひばりガ丘中学校 部長

夏が終わった。音が行き交うはずだった音楽室。造られた風しか流れない音楽室。来たる日への想いが込められた音楽室。音楽室の姿をこうも違う目線で見たのは、はじめてだった。まだぬるい身体の感覚はすぐに帰ってこなくて、ただ汗も周りも気にせず夢中になって音楽に取り組めることを願った。そしてそれは徐々に叶い、また続く代の子たちも十二分にやって来てくれた。私たちは何を残せることだろう。その覚悟としても曖昧で、形としても日々変わっていきそうだが、やれることを目いっぱいしよう。それに限る気がする。人がいるから音楽は出来る。感謝があるから優しい音楽になる。届ける想いがあるから音楽は成り立つ。夏は、はじまったばかりだ。